

個人  
質問  
小高 良則

教育問題

**問** 八街市では幼小中高連携教育に取り組まれているが、幼から小へ、保から小への時期が大切に思われる。その取り組みについて伺う。

**教育長** 園児が小学校を訪

問したり、小学生と交流する中で、小学校のお兄さんお姉さんや小学校の先生を知り、小学校入学への不安を解消していき、「人との関わり」を多くすることを目指しています。幼稚園や保育園の中でも異年齢交流やクラス解体を行ったり地域のお年寄りと交流を行ったりして社会性の涵養に努めており、保護者には、家庭教育学級や懇談会、園だより等で基本的な生活習慣形成の大切さや食育の重要性等について啓発しています。

**問** 東小学校プレハブ校舎老朽化の今後の対応について伺う。

**教育長** 当市の児童生徒数の推移では東小学校も含め、平成9年頃にピークを迎えこれ以降は減少し続けています。仮設教室の解消にあたり引き続き増改築等

の必要性、規範などを含め総合的な観点から検討したいと考えています。

**問** 現在、市役所庁舎は夜間、各学校等は昼間も閉門をしている。また、一部の小学校では防犯カメラの自主設置がされていると聞いたが、すべての学校に設置する考えはないか伺う。

**教育長** 学校等の閉門は、安全管理の一環として、原則児童生徒が校内で生活をしている時間帯、夜間及び休日等を実施しています。中央中学校では使用にあたってのマニュアルを作成したうえで、防犯カメラを2月から使用を開始したところ

です。一部の小学校にもカメラが設置されているので、これらの防犯カメラの効果等を比較、検討しながら他校への設置に向けて検討します。



市立中央中学校に設置されている防犯カメラ

不審者情報配信メール



**問** 今日、携帯電話が大変普及しています。そしてメール利用も活発です。現在、不審者情報等文章にて拜見する事がありますが、防犯上もいち早く周知いたたく為、メール配信を幅広く利用する考えに対して伺う。

**教育長** メール配信は、現在実住小学校で試行し2月末現在で180名程度の登録があり、3月末まで試行を行いシステム上の問題が無いことが確認できたら4月から正式に市内一斉メールの配信を予定しています。

老人福祉センター

**問** 利用促進について伺う。

**市長** 場の提供だけではなく、老人クラブが活発に活動できるよう各種行事を支援し、誰もが利用しやすい施設運営にこれからも努めます。

**問** 老人福祉センターリニューアル構想はあるのか伺う。

**市長** 現在、リニューアル構想はありませんが、高齢者の方々が安心して施設を利用いただけるよう随時点検と計画に基づいた施設整備を行ってまいります。

道路問題

**問** 一区交差点改善について伺う。

**市長** 将来、右折レーンや歩道の設置など大規模な交差点改良が必要と認識していますので、関係者全員のご協力が得られる状況になれば、事業として立ち上げたいと考えています。

**問** 東小学校通学路冠水について伺う。

**市長** 市役所の駐車場を透水性舗装にしたり、浸透側溝により雨水をなるべく地下に戻すような整備等はしていますが、国道409号との交差点では各方面から雨水が集まってくるために、大雨の際には流下能力を超えてしまい、冠水が生じる状況です。この現状を根本的に解消するには、公共下水道の大池第三雨水幹線の完成を待たなくてはなりません

何らかの対策を講じて児童の通学になるべく支障が生じないようにしたいと考えています。

**問** 朝日区内未舗装道路について伺う。

**市長** 砂利道の舗装化は、毎年各地区の区長から要望書が提出されていますが、舗装新設は、費用対効果等を考慮した上で実施するか判断したいと考えています。

**問** 駅北口より一区内を通る計画道路について伺う。

**市長** 駅北側へのアクセス性を高めるため、実現が求められているところですが、東小学校の校舎及び体育館等が本路線にかかることから早期実現は、難しい状況です。

クリーンセンター

**問** 最終処分場の埋め立てが早いペースに見受けられます。対応等の考えを伺う。

**市長** 一般廃棄物処理基本計画の中で分別収集の見直しを行い、再資源化出来る品目はできる限りリサイクルし、排出抑制についても実情にあった方策を計画し、最終処分場の延命化を図りたいと考えています。

個人  
質問  
湯淺 祐徳

榎戸駅の整備

**問** 北側への改札口の新設もしくは南北自由通路の新設について。

**市長** 関係各方面との連携のもと、引き続きJR側への交渉、要望をより積極的に進めたいと考えています。

**問** ホームの延長と屋根の増設について。

**市長** ホームの延長は、山武市、酒々井町とともに成東佐倉間における快速電車増発の実現を目標とした活動の展開の中で、15両編成に対応する長さのホームが必要不可欠であるとしており、快速電車の実現を図るうえから、ホームを延長する必要がありますと考えています。屋根については、ホー



JR榎戸駅